

- 近年、気候変動問題への対応を成長の機会ととらえる国際的な潮流が加速している。ソニーセミコンダクタグループは、2025年度までの環境中期目標「Green Management（グリーンマネジメント）2025」を掲げ、省エネ等の環境負荷低減活動を推進しています。
- 弊社は、企業としての価値を高めて行くべく、製品の製造時に排出されるCO2を減少させていくことで付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていきます。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年7月～2024年3月

2. 生産性向上目標

目標年度までに全体の炭素生産性を26.1%向上することを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

新棟増設するソニーSS長崎テクノロジーセンターにて、省エネタイプの電気・空調設備を導入し、従来より電力消費に伴うCO2排出量を減少させることで、炭素生産性を向上させる。

4. 支援措置

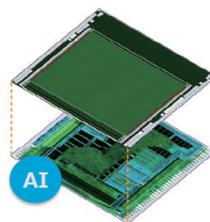
税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>

環境への取り組み②

環境配慮商品の開発

IMX500



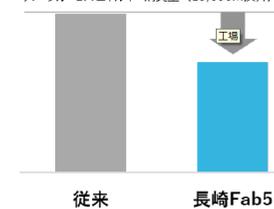
メタデータ
出力

データ量
削減

消費電力
削減

製造過程における環境負荷低減

クリーンルームのエネルギー消費量（10,000㎡換算）



従来比▲30%の
省エネルギーを実現



CO2
5900トン削減/年



電力
17GWh, 2.2億円削減/年